



第 36 回長柄農林商工まつりにおいて、千葉大生が考案した長柄町の魅力を伝える「クイズ！ながらを知りながら」を開催しました。本企画は、千葉大学の授業の一環として、「長柄町の魅力をより多くの人に伝えること」をテーマに千葉大生が長柄町を何度も訪れ、学生発案のアイデアの中からもっとも支持が多かったクイズを選び、実現しました。

クイズは、パンフレット、広報誌などから長柄町に関する問題を学生が考案し、「ふつう」「むずかしい」に分けて 10 問ずつ出題しました。回答し、アンケートに答えると、ながらンと千葉大学マスコットキャラクターが描かれた特製ステッカー（学生のデザイン）をプレゼントしました。

アンケートの結果、30 代以下の参加者が 46%、10 歳未満の参加も 2 名あり、目標であった若年層が楽しめるコンテンツが提供できました。参加者の 52%が町内、48%が町外で、町外は茂原市、市原市、千葉市の順に多かったです。半数以上の方が 3 回以上農林商工まつりに訪れていました。クイズは 66%の人が難しいと答えていて、「クイズで長柄町の魅力を再発見できたか」という問いには、90.5%の人が「ある程度できた」「できた」と答えてくれて、企画の目的が達成できました。自由意見では「楽しかった」「初めての土地について考えられる良い機会だった」といった声がありました。

なお、当日利用した「エコキャビン」の認知度についても聞いたところ、45%の人が何らかの形でエコキャビンを認知していました。